

市場って
どんな場所？

盛岡市中央卸売市場を見学しました



8月号では、「いわて純情野菜が食卓に届くまで」の流れと本会が行っている取り組みについてお伝えしました。
9月号では本会の取引先である丸毛盛岡中央青果株式会社をご紹介します。
取締役部長の鎌田広正さんに盛岡市中央卸売市場を案内していただきました。

卸売市場は、流通の「はじまりの場所」

卸売市場は、全国から商品が集まり、取引される流通拠点です。市場の開設者（都道府県や自治体）から認定された卸売業者（大卸）が商品を市場に集め、仲卸業者に「競り」を「対」等の方法で販売します。

市場があることで、さまざまな産地の多種多様な品目・品種、等級、階級サイズなどの商品を大量に集め、販売先のニーズに合わせて効率よく分荷・販売することが可能に。また、日々の取引結果が公表されるので、公正で透明性の高い価格が形成されるほか、需要と供給に関わる情報を発信する場にもなっています。
今回、私たちは「盛岡市中央卸売市場」の青果部を訪問。いわて純情野菜が、どのように流通しているのかを見学しました。

市場見学は動画でも公開しています



市場案内編



JA全農いわてとのつながり編

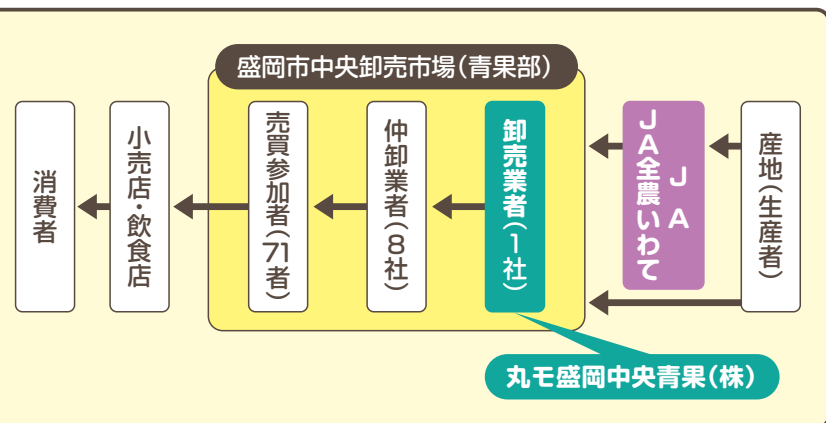


JA全農いわて YouTubeアカウント

盛岡市中央卸売市場の概要

所在地	盛岡市羽場10地割100番地
開設者	盛岡市
取扱品目の部類	・青果部 ・水産部
入場業者・団体	卸売業者（青果1、水産1） 仲卸業者（青果8、水産4） 売買参加者（青果71、水産37） 関連事業者（資材など）21

産地から消費者に野菜が届くまで



鎌田さんに聞きました



Q 岩手の生産者へメッセージ

A 産地との距離が近い「顔が見える」関係を大切にしたいと思っています。資材などのコスト高を価格に反映するようにしたり、鮮度のいいものを速やかに販売店に届け地産地消を実践するなど、生産者の安定収入をバックアップしていきます。

Q JA全農いわてへの期待

A JA全農いわてから出荷していただいている野菜は、本社の取扱数量の20～25%のシェアを占めています。
7～9月のハイシーズンは岩手県産野菜が中心となっているため安定的な出荷をお願いしたいです。



09:00～ 事務作業



取引が終わったあとは、事務処理や産地との連絡・出荷要請、注文対応などを行います。

07:00～ 小分け・配送



仲卸業者が競りや相対取引で購入した商品は、販売先ごとに小分けされ配送されます。



06:45～ 競りの開始



市場での取引には、複数の買い手が競争し取引価格を決める「競り」と、売り手と買い手が1対1で交渉して数量や価格を決める「相対取引」があります。

05:30～ 荷捌き



全国各地から青果物が続々到着。生産者が個人で持ち込みをすることもあります。

丸毛盛岡中央青果（株） 取締役部長 鎌田広正さん

当社は5時半から14時半が就業時間。朝早いのは大変だけど今はもう慣れましたし、その分仕事が終わるのも早いので、1日を有意義に使えます。



卸売業者（大卸）

丸毛盛岡中央青果株式会社

岩手県内唯一の中央卸売市場（国が認定する市場）である「盛岡市中央卸売市場」の卸売業者として、全国各地から新鮮な青果物を集荷し、県内に安定供給しています。

確実な販売と代金精算



代金決済は、本会が窓口となり確実な回収を行っています。生産者にとっては、代金回収リスクが解消されるため、生産に集中することが出来ます。

岩手県産の証「Jライン」

J Aを通して出荷する青果物（系統出荷）の大部分に使われている「J（純情産地）ー（いわて）」のロゴの入ったタンボール。全国から商品が大量に集まる市場で「純情産地いわて」をアピールするため、およそ30年前にデザインを作成し、商標登録しました。市場にずらりと並び「Jライン」は、遠くからでも目を引くアイコンになっています。



産地と買い手をつなぐ関係づくり

盛岡市中央卸売市場をはじめとする主要市場と連携し、いわて純情野菜の流通・強化に取り組んでいます。日頃の情報交換はもちろんのこと、量販店のバイヤーを産地に招待した収穫体験や生産者が市場でいわて純情野菜をアピールする機会を企画するなど、産地と買い手がお互いに理解を深める「顔の見える関係づくり」に力をいれています。



JA全農いわての取り組み

「純情産地いわて」が目指す「理想像」その3つの柱。

本会が事務局を務める岩手県ＪＡ稲作部会連絡協議会は、ＪＡ新しいわて管内の岩手町にある圃場で、岩手県オリジナル新品種「白銀のひかり」の視察研修を実施しました。

「白銀のひかり」は、岩手県農業研究センターで「銀河のしずく」を母に持ち、「ふ系243号」を掛け合わせ、10年以上を費やして育成した品種で、倒伏に強く、多収が期待できます。

この日の視察研修には県内6ＪＡから生産者・ＪＡ職員14名が参加し、新たな品種を視察することで、水稻栽培に対する視野をひろげ、栽培技術向上の一助としました。

同協議会の川村厚会長は「栽培方法は地域によって微妙に違う。他地域を参考にしながら、生産者一人ひとりが生産技術を自分のものにしなさいといけない。白銀のひかりが継続的な収量安定に貢献してくれることを期待している」と話しました。



岩手県 | 稲作部会連絡協議会の川村厚会長



岩手県JA稲作部会連絡協議会の川村厚会長

岩手県JA稲作部会連絡協議会視察研修
令和7年7月29日（火）

「つなげる」

いわての農業を継承し、
価値を高め、
未来へ繋げる。



「いわて純情野菜トップセールス」

「ひろげる」

生産者とともに、
その想いを
消費者の食卓へと
広げる。



花巻東高校野球部へ県産農畜産物贈呈
令和7年7月31日(木)

令和7年7月31日(木)

「根を張る」

**地域社会の
一員として、
強く根を張る。**



花巻東高校野球部に県産農畜産物が贈られました

3年連続13回目の甲子園出場となる花巻東高校野球部の活躍を祈念し、JAIわて花巻と本会は7月31日、花巻東高等学校で「第107回全国高等学校野球選手権大会出場記念贈呈式」を開催しました。贈呈式には花巻東高校野球部の選手をはじめ、JAIいわて花巻の金田伸代表理事専務や本会の畠山正副本部長が出席し、JAIいわて花巻から花巻産ひとめぼれ120kgと金一封、本会からいわて純情豚1頭分と金一封を贈呈しました。

畠山副本部長は「春の結果をチームで向き合って、準備したことが功を奏した。甲子園での勝利を期待します」と激励しました。続いて金田専務は「JAIから練習をしている姿を見ていた。米、肉を食べてベスト8以上を目指して頑張ってもらいたい」と選手らを応援しました。選手代表は「地域の方々の応援があって野球に専念できています。花巻東の強みである粘り強い野球で一生懸命戦ってくる」と話しました。



花巻東高校野球部に県産農畜産物が贈られました。

いわての牛肉フェア

盛岡つなぎ温泉全旅館で9月1日(月)～30日(火)の期間「いわての牛肉フェア」を開催します。期間中、盛岡つなぎ温泉の対象施設で「いわて牛」を使用したメニューが提供されます。

■期間：9月1日(月)～9月30日(火)

■実施店舗・対象施設

- 湯守 ホテル大観、ホテル紫苑、愛真館、四季亭、旅染屋山いち、丸家旅館、清温荘、三代目山新

■期間：11月までは毎日、12月～3月までは金、土、日曜日(1月2～4日を除く)

この公演は盛岡つなぎ温泉観光協会が、温泉利用者にいつでもさんと踊りを楽しんでもらい、岩手県全体の観光に貢献することを目的に令和2年度から開催され、今年で6年目となります。盛岡さんと踊り振興協議会に所属する団体が交代で出演し、盛岡つなぎ温泉観光協会に加盟する9施設の宿泊利用者が無料で観覧できます。本会では、協賛を通じて温泉利用客に県産農畜産物のPRをおこなっています。

● つなぎ温泉観光協会ホームページ <https://tsunagionsen.com/> ●

つなぎでつなぐ
盛岡さんさ踊り

いわての牛肉フェア
(いわて牛・岩手県産牛)

【フェア期間】令和7年9月1日(月)～9月30日(火)

「いわて牛」とは？～日本の頂点を極めた「旨さ」をあなたにも～
岩手県内で生産された黒毛和種で、歩留等級「B」以上、肉質等級「3」以上の霜降り牛肉のことです。
全国肉用牛枝肉共助会において最多11回の日本一に輝いている日本最高級のブランド牛です。

以下の基準を満たす「牛枝肉」を、「いわて牛」と定義しています。
①牛の品種が黒毛和種であること ②肉質等級が「3」以上であること ③歩留り等級が「B」以上であること
④最長・最終「飼養地」が「岩手県」であること

C5	B5	A5
C4	B4	A4
C3	B3	A3
C2	B2	A2
C1	B1	A1

歩留りが良い

至高の牛肉
いわて牛

商標登録：5029319号
いわて牛普及推進協議会
<http://www.iwategyu.jp/>

期間中、温泉内の下記旅館ではいわて牛・岩手県産牛を使用したお食事を提供します。※プランの詳細については各旅館へお問い合わせください。

●湯守ホテル大観 TEL. 0570-072-780	●四季亭 TEL. 019-689-2021	●清温荘 TEL. 019-689-2321
●ホテル紫苑 TEL. 019-689-2288	●旅染屋山いち TEL. 019-689-2704	●三代目山新 TEL. 019-601-4343
●愛真館 TEL. 019-689-2111	●丸家旅館 TEL. 019-689-2016	

いわて牛 JA全農いわて

各事業部の取り組み

各事業部における活動を紹介します。今回は園芸部園芸特産課の生産振興・販売対策です。

園芸部園芸特産課の取り組み

園芸部園芸特産課では、園芸部門の「果実」「花き」「乾しいたけ」事業を担当しており、JAや県関係機関、販売先と連携し生産基盤の強化および販売関連業務をおこなっています。

生産振興対策としては、園芸産地確立事業による規模拡大等に向けた生産者支援等をおこなっています。

販売対策としては、買取販売を通じた生産者の手取り確保に向けた取り組みをおこなっています。

また、輸送対策としては、りんごのパレット輸送の拡大や、花き市場気付輸送の新規取り組みをおこない、輸送の効率化と安定的な物流の確保をすすめています。

1. 生産振興対策

- りんごの新植・改植苗木代助成、りんごの栽培拡大助成事業
- バイオステイミューラント資材の有効性検証と導入推進
- 「りんご」高密度栽培の普及検討と、新果樹品目「もも」の試験栽培
- 「りんご」の新たな栽培体系の実証試験と推進強化

2. 販売対策

- 重点市場への出荷拡大と直接販売取引の拡大
- りんごの県オリジナル品種(紅ロマン・紅いわて・はるか)の買取販売
- りんごの買取販売による生産者手取り確保と、需要期への責任供給
- 乾しいたけの買取販売による包装加工付加価値販売と生産者手取りの安定化
- りんごのパレット利用拡大と花き市場気付輸送による物流の効率化
- 県内スポーツイベントへの協賛や、SNSを活用した情報発信等による販売促進



りんご千鳥疎植栽培



原木椎茸



りんご高密度植栽

今から準備しておく
と安心、おトクですよ!

冬用タイヤ キャンペーン

キャンペーン期間
2025.9/1(月)→10/31(金)

**iceGUARD iG91
for VAN**
145/80R12 80/78N

**WINTER MAXX
LV01 for VAN**
145/80R12 80/78N

W300
145/80R12 80/78N

岩手県 JA-SSは **岩手の農業を応援します!**

JA ss 岩手県JA-SS

編集後記

初めてさんさ踊りを観ましたが、休憩することなく踊り続ける姿に感動しました！
盛岡で新しい夏を感じることができました (嶋中)

KLARA

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にしている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。
全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、
**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋**
になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA 全農いわて 純情ブランド推進室

JA 全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8629 FAX019-626-8634

<https://www.junjo.jp>